

(参考)これまで当社が実施してきたテナントと連携した省エネ・節電対策

テナントのエネルギー使用量を可視化する「エネルギーWEBシステム」

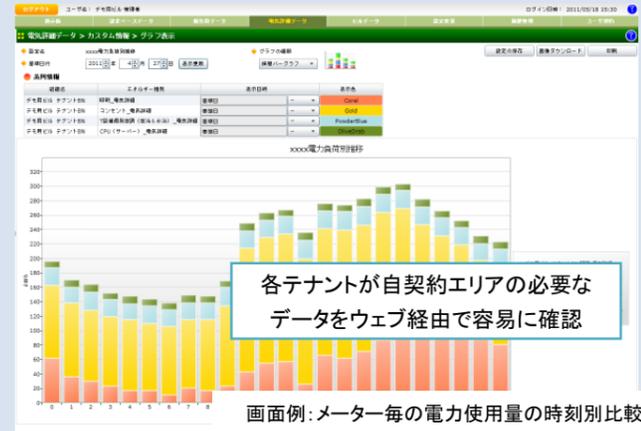
エネルギー使用量を可視化する「エネルギーWEBシステム」を開発し、2011年5月より運用しています。当社が管理・運営するビル約80棟に入居する約1,300のテナントが、自らの省エネ努力の結果を数値やグラフで容易に把握することができることから、さらなる環境活動推進を可能にします。

テナントのエネルギー使用量を可視化する「エネルギーWEBシステム」のポイント

オフィスビルや商業ビルでは、エネルギー使用量の**6~8割**をテナントが使用

従来、電気使用状況は・・・
毎月、テナント毎にしか、把握できない

「時間毎」「エリア毎」「用途毎」で
電気使用量データを把握可能



- 主な機能
- ・月別・エリア別・用途別などの条件毎にグラフを作成
 - ・ビル全体のCO2排出量表示
 - ・法令に基づく各種報告書用のデータ閲覧 …等

詳細な電気使用状況が把握できるため、具体的な省エネ・節電対策につなげることが可能

ビルテナントとテナントが協働する関係の構築

当社が管理する大規模事業所ではテナントと協働して省エネに取り組むため、環境対策協議会を開催しています。建物全体のエネルギー使用量やビルでの省エネ取組み、またテナントにて行なっていただく省エネや節電メニューなどの提供や、協力依頼を行なっています。



テナント協議会の様子



環境啓発のためのエコポスター

震災後、六本木ヒルズの発電電力を東京電力へ提供

2011年の東日本大震災後の電力需給ひっ迫時には、テナントの協力のもと、六本木ヒルズの自家発電の余力と節電分を合わせ、下記の通り東京電力に電力を提供いたしました。

送電期間	平成23年3月18日～4月30日	平成23年7月1日～9月22日
供給時間	24時間	
送電電力	6時～20時: 4,000kW 20時～6時: 3,000kW	8時～22時: 5,000kW 22時～8時: 4,000kW

(4,000kW＝一般家庭約1,100世帯分に相当)



都市ガスから発電するガスタービン



発電施設の中央コントロール室

■節電により約20%の消費電力を圧縮

当社が管理運営する約100棟の物件において、節電対応を実施、テナント企業等の協力もあり、約15~20%の消費電力を圧縮しました。

・テナント企業のコメント(六本木ヒルズ森タワー 証券会社 総務部長)

「六本木ヒルズでは電力制限を受けないが、節電によって(発電設備の)余剰電力を増やすことで、森ビルを通じて東電に電力提供ができており、**社会貢献につながっているという認識**で積極的に取り組んだ」

・居住者のコメント(六本木ヒルズレジデンス)

「消灯やエレベーターの台数削減などしてるが、不便はない。エレベーターの待ち時間が増えたことで居住者同士の会話も増え、**かえってコミュニティが強く図られた**」

■3重の安定性を持つ電源供給

六本木ヒルズでは、独自のエネルギープラント(特定電気事業施設)により、域内に電力を供給。当プラントは、都市ガスを燃料とするため電気による電力制限の影響を受けることなく、極めて安定的な電力供給が可能です。さらに**3重**の安定性を持つ電源供給により、一般的なSクラスビルを上回る極めて信頼性の高い電源供給システムを構築しています。

- ①都市ガスによる発電
- ②東京電力からの供給
- ③灯油による発電

<環境面でのメリット>

- ・大規模複合施設ならではのピーク時負荷の平準化
- ・排熱活用によるエネルギー効率化

<六本木ヒルズの電源供給システム>

